

ICTニュース 7月号

院内感染対策委員会

2019年7月号

～手足口病 流行中！！子供からの感染注意！！～

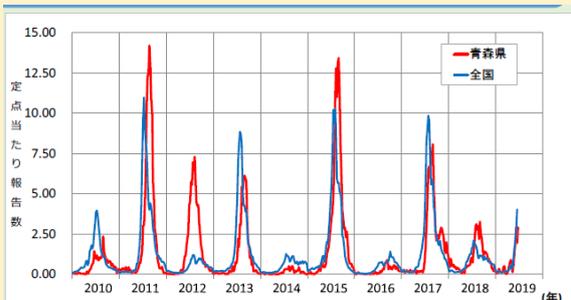
手足口病については、五所川原保健所管内で警報が発令されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内では警報が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。

手足口病は、感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。口の中、手足などに水疱性の発疹が出る、伝染性のウイルス感染症です。

主に乳幼児にみられ、発熱があっても、あまり高ならず（38℃以下）、ほとんどは数日中に治ります。しかし、ごくまれに髄膜炎、脳炎などを引き起こすことがあるので、注意が必要です。

夏季に流行がみられ、全国では2011年以降、ほぼ2年ごとに患者数の多い年があり、青森県でも2012年以外は全国と同様の傾向となっています（図）。

感染予防のために、しっかりと手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



図：青森県と全国における手足口病報告数
(2010年～2019年第25週)

